

★ 学業特別奨学生入試

① 地理の出題範囲とポイント

【出題範囲について】

- 世界地理は、アフリカ州に関する問題を中心に出題。
- 日本地理は、東北地方に関する問題を中心に出題。

【受験勉強のポイント】

- 世界地理と日本地理は配点がほぼ同じですので、範囲の要点をしっかりと復習しておきましょう。
- 例年の出題傾向としては、「地形に関する問題」、「図やグラフからの読み取り問題」、「地形図に関する問題」が毎年出題されています。出題される確率の高い問題傾向や、資料の読み取りなどをしっかりと取り組んでおくとい良いでしょう。
- 地形図の距離の計算ですが、例年、解答欄に書く際に、間違える受験生が毎年多くいるので、適切な答え方ができるように気を付けましょう。
- 例年の出題傾向としては、「地形に関する問題」、「図やグラフからの読み取り問題」、「地形図に関する問題」が毎年出題されています。出題される確率の高い問題傾向や、資料の読み取りなどをしっかりと取り組んでおくとい良いでしょう。
- 地形図の距離の計算ですが、例年、解答欄に書く際に、間違える受験生が毎年多くいるので、適切な答え方ができるように気を付けましょう。

② 歴史の出題範囲とポイント

【出題範囲について】

長崎を舞台とした近現代史を中心に、文化面も出題。

【受験勉強のポイント】

長崎の歴史的な背景を意識した問題です。長崎といえは古くから外国との関わりが深い地域です。特にキリスト教徒が現在も多く、本州とは違う歩みをしてきました。長崎の地図もよく見つつ、学習してみましょう。

③ 公民の出題範囲とポイント

【出題範囲について】

三権（国会・内閣・裁判所）を中心に出題。

【受験勉強のポイント】

教科書を中心に、三権（国会・内閣・裁判所）の重要語句をよく理解し、他者に説明できるようにしておくといでしょう。

★ 一般入試

① 地理の出題範囲とポイント

【出題範囲について】

- 世界地理は、南アメリカ州に関する問題を中心に出題。
- 日本地理は、北海道地方に関する問題を中心に出題。

【受験勉強のポイント】

- 学特入試と同様、世界地理と日本地理は配点がほぼ同じですので、範囲の要点をしっかりと復習しておきましょう。

- 「地形に関する問題」、「図やグラフからの読み取り問題」、「産業に関する問題」等、教科書の重要語句を中心に勉強に取り組みましょう。

② 歴史の出題範囲とポイント

【出題範囲について】

- 明治時代以降の現代の出来事を中心に、世界と日本の関わりについて出題。
- 政治面だけでなく、文化面も出題。

【受験勉強のポイント】

- 歴史の配点は、地理や公民に比べて多いです。範囲の要点をしっかりと復習しておきましょう。
- 単語を記述する問題も出題します。漢字で答えられるようにしておきましょう。
- 例年の出題傾向としては、文献資料や写真から読み解く問題が毎年出題されています。教科書や資料集の文献資料や写真と関係する事象をよく確認しておくとい良いでしょう。

③ 公民の出題範囲とポイント

【出題範囲について】

現代の民主政治を中心に出題。

【受験勉強のポイント】

- 教科書の現代の民主政治に関連する箇所をよく勉強しましょう。特に、民主政治や選挙、政党、マスメディアについてよく学習してください。
- 現代の民主政治に関わるような時事ニュースのおさらいも重要です。